

科 目 名(Subject)	外国語演習a(ドイツ語) (Foreign Language Seminar a)		
単 位 数(Credits)	2 単位	開講時期	後期
担当教員名 (Name)	副島 美由紀 (Miyuki Soejima)	研究室番号 (Office)	411
Office Hours	在室時可		

1. 授業目的・方法(Course objective and method)

〔目的〕 外国語学習の本来の目的は、異なる言語とその背景をなす文化を学ぶことによって世界に関する認識の地平を広げ、自らの価値観を相対化してより公正な判断能力を養うことにあります。この目的を念頭に置き、映像教材を使ってドイツ事情を学びながら、ドイツ語を聞く、読む、また話す能力を養っていきます。この授業によってドイツ語の能力が増すばかりでなく、新しい世界と対峙する勇気が湧いてくることでしょう。

〔方法〕 ドイツという国とドイツの人々を紹介するために作られたドイツ製の教材の中からビデオ教材のあるものを選び、使用します。それぞれのテーマについてまず動画教材を鑑賞し、その内容をテキストで読み、理解します。練習プリントによって文法の復習や語彙の収集を行います。その後、そのテーマについてドイツ語で自分の考えをまとめ、発信する練習をします。

2. 達成目標(Course Goals)

ドイツ語圏という異文化に関する知識を深めると同時に、様々なテーマについて自分の意見をまとめ、それをドイツ語で書く・話す・聞くという力の涵養を目指します。そのような練習を通して、外国語による総合的なコミュニケーション能力を大学院生の知性に応じたレベルに引き上げるのがこの授業の到達目標です。

3. 授業内容(Course contents)

授業で扱う予定のテーマは以下の通り。これらの中から参加者のレベルと興味を考慮しつつ、いくつかを選択して取り上げます。

- ドイツの学校制度について
- ドイツの学生生活
- 職業訓練制度
- 自分の町・自分の大学を紹介する。
- ドイツ人のための休暇
- ドイツ人の余暇の使い方
- ドイツ人が家庭で行う自然保護
- ドイツ人の結婚観
- 等々

2, 3回の授業で一つのテーマを扱う予定です。動画およびテキストは、Moodle 又は manaba を通して配布されます。

4. 事前学修・事後学修(Preparation and review)

「事前学修」においては、自宅での動画をみて内容を理解し、使用されている語彙等を把握します。授業ではこのトランスクリプトを解読していき、文法や語彙の練習を行います。

「事後学修」は、動画のテーマについて自分の意見をまとめ、それを表明する作文を書くといった作業が中心になります。次の授業で、意見表明の自己表現を会話のかたちで訓練します。「事前学修」「事後学修」共に1時間ほどを必要とするでしょう。スムーズな授業展開のためにはきちんとした予習・復習が必要条件となります。

5. 使用教材(Teaching materials)

『Einblicke』(Goethe-Institut + Internationales), 『Studio d』(Colnelsen) 等を使用しますが、動画やテキスト

教材はMoodle又はmanabaを通して配信します。また、授業でのプリント配布も行います。

6. 成績評価の方法(Grading)

各課の最後に課される作文等の提出物・プレゼン・発言・出席率を含む平常点を60%、試験の成績を40%として評価します。

7. 成績評価の基準(Grading Criteria)

秀：ドイツ語文法をよく理解し、読解と発話において優れた語学運用能力を持っている。

優：ドイツ語文法を理解し、読解にも発話にも不安のない能力を持っている。

良：ドイツ語文法を理解し、読解や発話に支障のない能力を見せる。

可：ドイツ語文法を最低限度理解し、若干の運用能力と最低限の語彙力を持っている。

不可：上記以外の者。

8. 履修上の注意事項(Remarks)

欠席回数が授業回数の 1/3 を超えると単位取得資格を失います。また、日本語であれ、ドイツ語であれ、活発で率直な発言を期待します。